

# 聖鋤会報

発行所  
北海道立農業大学校  
同窓会

中川郡本別町西仙美里25-1  
電話 0156-24-2122  
FAX 0156-24-2421  
編集 事務局



北海道立農業大学校同窓会

会長 津島 朗

## 大変化の時代

日増しに寒さがつより、冬本番を感じられる季節となりました。

同窓会の皆様方におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申しあげます。

先日、オーストラリア領事と話をする機会を持つことができました。その中で、日本の牛肉そして牛乳は、オーストラリアのものより美味しいと言っていたこと。また小麦は中国が高く買っているため、日本のうどん用よ

り中国向けの生産にシフトしてきて、そのため日本向け小麦の品質、量に国内製粉会社が危惧をしていること。ニユージーランドにも中国が買いに来て、放牧酪農地帯に飼料作物が植えられ、その飼料により生産された乳製品の輸出増加に変化しつつあることを伺いました。

また、六月にはベトナムを訪問して来ました。目的は今後の海外研修労働者の可能性についてであり、訪問先は、「エスハイ」という技能研修生派遣スクールでした。ここでは、日本語、日本文化、マナーを学んでいました。

生徒の言葉で『日本は、小さい国なのに先進国となっている。しかも親切で礼儀正しく、街が綺麗でゴミひとつなく、遊ぶときには遊び、働くときは良く働く日本のような国にベトナムを作りたい。』と言っていたことが印象的でした。しかしベトナムの農業試験場では、農業予算が毎年減っていき、工業

立国へ向かっているとのことでした。世界の人口増加と、後進国の工業化をまじまじと感じ、より日本の農業大学校の役割の重要性を感じました。今後も担い手の育成等、農業大学校の発展に少しでも寄与できる同窓会でありたいと感じています。今後とも同窓生の皆様のご指導、御協力をお願いします。

## 第十四回総会開催

### 会長に津島氏(六期)が再選

去る平成二十九年一月二十八日(土)、北海道立農業大学校会議室を会場に、三年に一度の総会が開催されました。総会には十三名が出席、平成二十六～二十八年度の事業経過及び決算決算が報告され、平成二十九～三十一年度の事業計画及び予算が承認されました。

出席された会員の皆様、本当にお疲れ様でした。三年後の総会でまたお会いしましょう。よろしくお祈りします。

#### 役員体制

会長 津島 朗

副会長 田野 敏規

青木 伸  
農大六期(十勝支部)

滝本 広  
農大六期(網走支部)

また、夜は

農講二期(根室支部)



理事 相沢博美

農大七期(十勝支部)

黒沼茂樹

農大八期(十勝支部)

川本秀二

農大一期(十勝支部)

監事 府川正志

農大七期(十勝支部)

古川誠一

農大八期(十勝支部)

平成二十九〜三十一年度事業計画

1 聖鋏会報の発行(年一回)

2 東日本農業大学校等協議会・同窓会連盟総会への出席

3 全国農業大学校同窓会会長会議へ



北海道立農業大学校

校長 友成 公士

日ごとに寒さを感じる季節になりましたが、同窓会の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

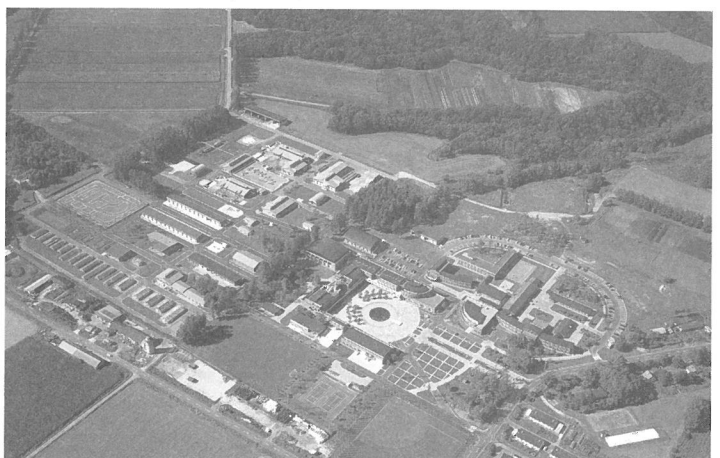
今年は大きな気象災害もなく、無事に豊穰の秋を迎えることができると思っておりますが、九月の台風十八号により収穫直前のおともろこしの倒伏等、全道各地で大きな被害となり、生産現場の厳しさを改めて感じております。本校におきましては、台風の被害も無く学生の栽培管理した作物が、管理の程度に応じた作柄が確保され、収穫の喜びを感じながらのほ場実習もほぼ終了しました。

四月の入校式に、初々しく入校してきた一年生も農大での学校生活や一か月の体験学習などを経て、肉体的にも精神的にもたくましく成長したと感じています。五月には、今年で五十回目となる伝統ある「強歩大会」が開催され、仲間同士励まし合いながら全員が完走し、仲間意識や連帯感が培われ

ました。七月は、学生自らが企画した「農大祭」が開催され、一般公開では学生が育てた牛肉や学生が加工したチーズ、アイスクリームの販売を行い、町内外からお越し頂いた大勢の方に好評を頂きました。また、一〇月の「農大市」では、実習で作った農畜産物や加工品を自ら販売するという貴重な体験をしました。

本校は、昭和二十一年に設立され、今年で七十一年目を迎えております。今まで五千名を超える卒業生を送り出し、農業者のリーダーとして全道各地で活躍され、本道農業の発展に貢献していることは、本校の大きな誇りとなっております。

本校における教育の基本は、農業の知識や技術を習得するばかりではなく、農業の実践力と課題解決能力を身につけることにあり、長い歴史の中で脈々と引き継がれてきたものであります。



今後本校を卒業する学生には、刻々と変化する時代の流れに的確に対応でき、柔軟な発想と行動力を持った意欲ある担い手として送り出したいと思っております。

このため我々職員もその責任の重さをひしひしと感じながら、明日の北海道農業の担い手となる学生の育成を熱意を持って取り組んでいきたいと思っております。

同窓会の皆様には、今後とも変わらぬ暖かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 期別活動

## 第七回『農講七期生のついで』

事務局 土門 満雄

農講七期生は、今回上川地区の担当で、第七回の集いを旭川市高砂台の旭川の夜景が一望出来且つ、料理の旨い和風旅館で九月五日に開催いたしました。連絡のとれる二五名中六名が参加されました。欠席者の近況報告では、ほとんどが体調不良とのことでした。懇親会ではあまりアルコールも入らなくなり、話題は次回の開催をどう



するか等が中心となりました。何はともあれ、次回は来年開催と決まり、会員が高齢となり参加が困難となったので第八回が最終と決まりました。最終回の担当はオホーツク地区が引き受けることとなりました。

多数の参加を頂き有終の美を飾りたものと念願いたしております。

## 農業講習所十五期生同期会

北見開催代表 服部 一俊

私たちは十五期会は、毎年度の開催です。

本年は平成二十九年四月九日ホテル



聖鋏15期の会 平成29年4月9日 於：ホテル網走湖荘

網走湖荘にて男性十名、女性八名(参加者の奥様)の集まりになりました。

女性(奥様)方の参加は平成十九年からで、本年十年目を迎えました。今は和気藹々で、相互に家庭訪問するなど親交を深めています。

早くも来年、標津・中標津方面開催が楽しみな様です。

(事務局 柳原 衛)

## 北海道立農業講習所第二十一同期会

高橋一義・菅原秀隆・石垣秀幸

修了後四十五年、六十歳になったのを期に毎年「同期会」を重ね、親睦や交友を暖めている。

同期の修了生には、道南はニセコ町、長万部、留萌管内羽幌町、道央の富良野、道北は北見市、佐呂間町、湧別町、滝上、興部、そして紋別市や雄武町、士別市。今回の同期会は二〇一七年六月十八〜十九日、オホーツク紋別市での開催となった。紋別市、雄武町、湧別町、佐呂間町、北見市、足寄町、士幌町、芽室町、十勝清水町、豊頃町、帯広市などから十九名が集まった。また障害を負った方、けがで出席困難方にもお会いし再会を喜び合った。

卒業後五十余年歳月を経て、初めて顔



を合わせる者もいる。名前や顔が一致した瞬間、五十年前の歳月が瞬く間によみがえる。

それぞれに苦難の連続であった様が、言葉のはしはしや容姿に読み取れる。

仕事の事、家族の事、同期生の消息などまさに生き証人、歴史そのものである。

農講二十三期生同窓会  
幹事 高橋 道子

平成二十九年七月十五日、天候も良く暑い日でしたが札幌で農講二十三期生の同窓会が行われました。一九六九年度修了(昭和四十二年三月卒業の二〇一名で、数年ごとに場所を変え、今年は札幌で二十四名が集まって開催されました。

卒業後四十二年の月日を感じながら十二名の逝去者となられた方たちの黙祷から始まり、カラオケ・ゲーム、子育ても落ち着いた現在の近況話など、会話に花が咲きました。二次会にも多数参加され、忘れられない思い出になりました。



最後に二年後の幹事さんとなつた成瀬耕治さん(上湧別)の発声で万歳三唱。再会を約束して閉会しました。

農大十五期畜畑合同同窓会  
幹事 小松 洋一

平成二十八年十二月十六日、卒業二十六年目となったこの年に、畜産・畑園合同同期会を開催しました。帯広市内のホテルを会場に、遠くは南の八雲町、北の苫前町から、そしてかつての両担任にも出席いただき総勢二十五名の大人数となりました。

我々も四十台後半、髪の毛や体型も大きく変わった人もいましたが、仕事に、子育てに責任ある年代です。日頃の苦労話から話が弾むほどに、気分は仙美里で過ごした青年時代にタイムスリップ。師走の賑やかな帯広市内を、充分に堪能しました。次回



は五十歳の節目の開催を検討することとして、また会う日を楽しみに散会しました。本年七月には、十五期生女性だけ参加の女子会も開催されました。

私たちは、この絆をずっと大切にしていきたいと思えます。

事務局からのお知らせ

1 住所の変更について

引越等、住所が変更になった場合は、同窓会事務局までFAXにてお知らせ下さい。会報の送付先を変更いたします。

2 支部活動・同期会の活動助成について

支部活動及び期別活動を計画された際には、同窓会事務局までお知らせ下さい。諸経費の一部を助成します。活動の様子は、会報で紹介させていただきます。

3 その他のお知らせ

平成二十九年三月十日(金)卒業式にて、畜産経営学科、畑作園芸経営学科、稲作経営専攻コース、農業経営研究科の卒業生五十六名が、同窓会へ入会されました。

期別世話役

〔農講〕2鈴木一義 / 5菅谷誠・渡辺善信 / 7永井頼恵 / 8植田博 / 10森山睦美 / 11大平清吉 / 13辺見政孝 / 16小南和夫 / 17佐川満 / 18吉田甫 / 19西山利昭 / 20河田裕 / 21相沢勲 / 22石川眞清 / 23松崎文一 / 25仲鉢昭夫 / 27芳澤改治

〔農大〕1川本秀二 / 2和田嘉晴 / 3塩村昭博 / 4石丸博雄 / 5高井正行 / 6道下貞夫 / 7笹島喜郎 / 8岩井敦史 / 9井出和美 / 10富山和也 / 11石原英之 / 12森本耕二 / 13宮本茂行 / 14牧村康弘 / 15小松洋一 / 16遠山昇治 / 17田村直樹 / 18大裕晋二 / 19近藤大樹 / 20三田浩司 / 21佐藤昭徳 / 22熊谷直哉 / 23田中真理子 / 24塚田秀則 / 25齋藤かおり / 26日光純一・渡邊基樹 / 27柏葉宏樹・嶋貴一也 / 28鈴木隆也・中澤光太郎 / 29今西大和・今野大吾 / 30山木秀幸・佐藤貴文 / 31中澤好喜・幕田桂一 / 32黒川昌毅・若木章宏 / 33廣瀬正幸・下田奨 / 34毛房智幸・原田宏幸 / 35谷川和樹・那賀島充人 / 36大友詠吉・喜多真悟 / 37高橋裕貴・柴田悠 / 38田中啓太・前畑龍之介 / 39伊藤彰子・山内良介 / 40平井良・小西勇生 / 41櫻井慶・牛島隼也 / 42橋村翼・不藤翔太

〔農大稲作〕1吉田和浩 / 2大江博之 / 3穴戸聖 / 4平塚美明 / 5水嶋淳・伊藤優治 / 6石川英樹 / 7嶋田雅虎 / 8泊り雅幸 / 9石崎憲一 / 10富樫孝 / 11岡村博信 / 12平降之介 / 13吉見拓也 / 14吉村正之 / 15森勇貴 / 16石川大輔 / 17竹内誠 / 18岡岡晃平 / 19中山義之 / 20外山隆祥 / 21下道達也 / 22黒田直樹 / 23久保田和伸 / 24佐々木智彦 / 25加茂貴 / 26山本翔太 / 27宗万恵一 / 28坂本賢一 / 29水野雄貴 / 30宮田知輝

〔農大研究〕1内野康晴 / 2加藤幸嗣 / 3木村晴美 / 4山岸淳 / 5中西崇継 / 6今西大和 / 7仁井邦夫 / 8鈴木健司 / 9佐藤直哉 / 10富永浩貴 / 11上村優太 / 12小崎光 / 13松浦豊 / 14元山亮真 / 15山崎大裕 / 16佐藤広基 / 17戸田賢治